

指導分野・指導方針・指定課題

教 員 名	綿 祐二 教授
指 導 分 野 (テーマ)	障害児療育研究(発達障害児の療育活動)、福祉・介護現場における理論と実践の融合 介護現場の介護実践の研究、福祉施設の職員・人材育成、障害者福祉研究
指 導 方 針	(1) 福祉現場の実証研究 福祉現場の研究は、それぞれの現場の事象に対する「なぜ？」という問題意識からスタートします。社会福祉領域において、自分が疑問に思うことや明らかにしたい課題に対して、探求していくことが研究である。自分自身で研究テーマを設定して、数多くのレビュー(先行文献を読むこと)を行い、その研究テーマに関して深い知見を持つことが大切である。介護現場や福祉現場には、多くの課題があります。問題意識をもって卒業研究にチャレンジしてください。 (2) 研究の進め方および指導予定 ＜ステップ1：研究テーマの設定(4月～5月)＞ 実証研究では、福祉現場における問題意識を出してみ、先行研究によってレビューによって、研究目的の明確化をおこなっていきます。 ＜ステップ2：研究デザインの設定(6月)＞ 実証研究では、演繹的手法と帰納的手法があります。ただ、共通していることとして、科学的な命題・仮説・理論は、経験的事実に基づいて、その事象の真偽が検証(Verification)されるものでなければならぬことです。つまり、目的を明らかにするための客観的な研究デザインを組むことが大切です。 ＜ステップ3：データの収集および分析方法(7月～8月)＞ データ収集は、インタビュー法や質問紙法など対象者に合わせて、福祉現場から得ることが大切です。 ＜ステップ4：分析(9月)＞ 統計手法や行動分析など様々な分析によって、各自の問題意識(研究目的)を明らかにしていきます。 ＜ステップ5：執筆(10月～12月)＞ 研究の背景、問題の所在、目的、研究方法、結果および考察、結論という一連の章立てをおこない、執筆していきます。 (3) 指導方法 学生との面接指導および ZOOM 指導、メール指導を各自に合わせて行います。面接指導は、上記のステップごと 1 回は行いたいと思います。
指 定 課 題	特にありません。